

ネイチャーセンター ガイド (87)

親父の小言

「自然保護」とはどういったものなのか？

難しすぎる、考えれば考えるほど分からなくなってくる。でも、考えを追い込めば追い込むほど自分の意見がまとまるし頭の中が整理できてくる。そして何より「思い」が第三者にすべてとは言いきれないが、伝わってことをこの職業に就いてから学んでいる。

余計なことばかり書いていると、思いを伝える行数が減ってしまうのでこの辺にして、あっ、このコメントも無駄？そう、無駄だね！！

でもさー、無駄ってすごく大事だと思うんだ。特に幼少期から青年期にかけて・・・。

現代は、リサイクル法や世の中の流れで無駄のないように、ゴミの出ないように「もの」を「資源」を有効に効果的に使うという暮らしになりつつ、そこでフレーズのみが表立って、先走りしまっているような気がします。

私たちは、この「無駄なく」「リサイクル」という言葉を鵜呑みにしてしまい、暮らしすべてから「無駄」を排除していこうという傾向に変化していることを私は気にしています。

「失敗は成功のもと」という言葉があるように、失敗は人を育てる重要な要素であります。失敗という無駄を排除していこうという傾向がリサイクルという活動と複雑に絡み合い、けんかしている状況になっています。きちんと線引きしなければ、このままでは子どもが迷ってしまいます。



施設では、「どんどん失敗しろ」と子どもに言うとはじめは、目玉を飛び出させてびっくりしています。2秒後には勇気をだしているような活動に挑戦しているのです。グッと成長する瞬間です。失敗をどう次へつないでいくかが大人、親の役割なのです。

無駄な知識が脳を活性化させる時代だといわれているのも事実です。

★鯉のぼり集めています

お子様の成長を空から見守ってきた鯉のぼり、眠っていませんか？宝の山では、そんな鯉たちを集め、施設で毎年、泳がせています。

提供していただける方は、ご連絡ください。取りに伺います。

★「真竹」「モウソウ竹」「しの竹」集めています

宝の山では子どもたちに都留の自然を生かした素朴な人情味あふれる体験・体感活動を市内のみならず提供しています。

そこで都留市内の竹林復活プロジェクトも含め、荒廃した竹林整備を8年前より進めています。

竹林をお持ちで、施設の目的に賛同いただける方のご連絡をお待ちしています。

連絡・問合せ先 ☎(45) 6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター

開館時間：午前9時から午後4時まで

休館日：月曜日、祝祭日の翌日

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

ご案内「看護の日」

「看護の心をみんなの心に」

五月十二日は「看護の日」

五月九日～十五日は『看護週間』です。これは、近代看護の創始者であるナイチンゲールの生誕を記念して制定されています。この機会を通じて、『看護の心』の普及啓発を行い、看護についての関心、理解を呼びかける目的に『フェスタ看護』と銘打って様々なイベントが開催されます。

第二十七回山梨県看護大会

五月十二日(木) 午後二時～

ベルクラシック甲府

いきいき看護文化展

五月八日～十四日

JR甲府駅南北通路

看護の心普及街頭キャンペーン

五月十二日(木)

JR大月駅前・上野原高校前

富士急行赤坂駅前他

一日看護師

六月～七月の期間、管内高校生を対象に一日看護体験

問合せ先 健康福祉部健康支援課

☎(22) 7827

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

覚せい剤などの薬物を、好奇心や一回なら大丈夫だろうといった軽い気持ちで使うと、薬物依存が生じ、習慣性という恐ろしい悪循環が形成され、これが非行や犯罪と結びつき、身体的障害、精神的障害の発生へつながっていきます。

このような薬物の乱用を防止するためには一人ひとりが正しい知識を身につけることが大切です。家族の話し合いや、学校、地域の薬物乱用防止活動を通じて、私たちの身近な地域社会から薬物乱用を許さない社会環境をつくっていく必要があります。

「ダメ。ゼッタイ。」というキャッチフレーズのもと、国連主導で全世界の国々が一丸となって薬物乱用撲滅運動に取り組んでいます。その一環として、日本全国で「ダメ。ゼッタイ。」ヤング街頭キャンペーンが開催されます。これは「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を中学生・高校生等若者が主体となつて啓発・推進していくものです。多数の方々の参加をお願いします。